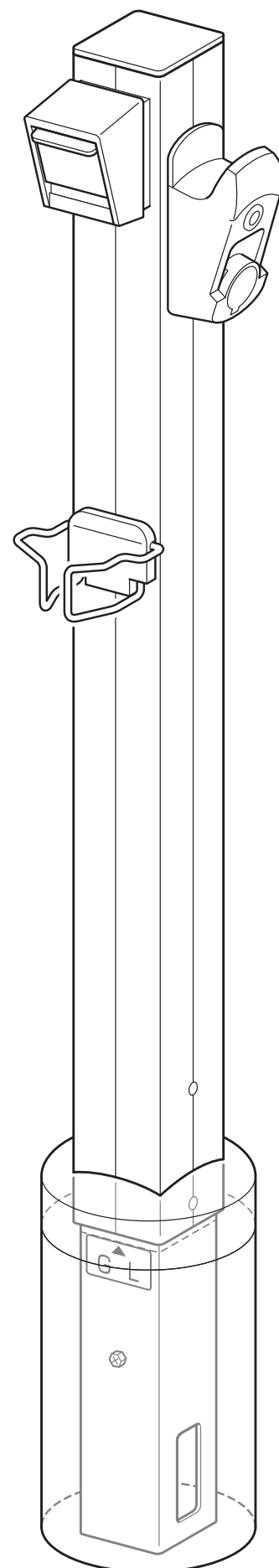


Abani ポール 埋込固定タイプ

施工手順書 APL-1200U



目次

1. 安全上のご注意	1
2. 施工上のご注意	1
3. 仕様	2
4. セット明細／各部名称	2
5. 寸法図	2
6. 使用工具	3
7. 施工方法	3
8. ポール本体の施工	4

■安全かつ適切な施工を行うために、この施工手順書を必ずお読みください。

■据え付け工事の前に「安全上のご注意」および「施工上のご注意」（1～2ページ）を必ずお読みください。

■この施工手順書は、お客様ご自身で取扱説明書と共に保管してください。

1. 安全上のご注意

機器の施工には法令で定められた資格が必要となります。

- 人や財産の安全を確保するため、必ず守っていただくことを説明しています。
- 注意事項に従わない場合の事故や故障につきましては、責任を負いかねます。

■誤った施工による危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。

注意

誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■お守りいただく内容を、以下の図記号で示しています。

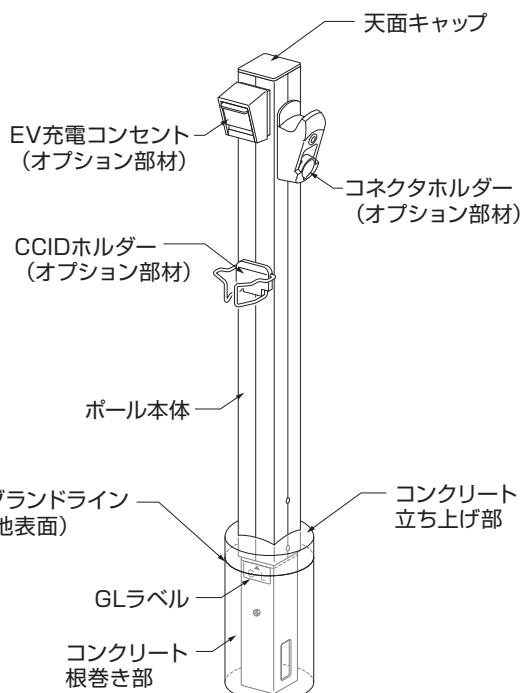


禁止 (してはいけないこと) を示します。



強制 (必ず守ること) を示します。

取付対象機器



オプション部材は、一例となります。
EV充電コンセントの種類により、使用するオプション部材が異なるため、事前に必要な部材をご確認ください。
各オプション部材は、設置用の開口やねじ穴の加工はされていません。
施工時に加工のうえ、取り付けてください。

2. 施工上のご注意

必ずお守りください。

警告

禁止事項	・分解や部材取り付け目的以外の穴をあけるなどの改造はしないでください。感電や火災のおそれがあります。
	・活線工事（通電状態での工事）はしないでください。感電のおそれがあります。
	・冠水や水没する場所には設置しないでください。感電・漏電事故の原因となります。
	・可燃性ガスや引火物の近くに設置しないでください。火災の原因となります。
必ず守る	・施工は施工手順書通り正確に行ってください。転倒やけがをするおそれがあります。
	・1回路ごとに必ず漏電ブレーカを設置してください。漏電による感電のおそれがあります。
	・本体にはD種接地工事を行ってください。漏電による感電のおそれがあります。
	・漏電ブレーカの動作を確認してください。感電・火災の原因となります。

注意

禁止事項	・製品の上に乗ったり、足を掛けたり、もたれかからないでください。転倒してけがをしたり、製品が破損するおそれがあります。
	・取付対象機器以外の取り付けは行わないでください。強度不足や予期せぬ不具合が発生する原因となります。
	・モルタル急結剤、海砂などは使用しないでください。さびなどの腐食の促進により、製品倒壊の原因となります。
必ず守る	・工事時は、作業用手袋などの保護具を着用してください。けがをするおそれがあります。
	・運搬、設置の際は周囲の安全を十分確認してください。落下、転倒、衝突により、けがのおそれがあります。
	・荷崩れを防ぐため、適切に保管してください。荷崩れしてけがの原因となります。
	・ポール本体に植栽などの土がかからないように管理してください。さびなどの腐食の促進により、製品倒壊の原因となります。
	・コンクリート基礎は乾くまで養生期間を取ってください。転倒や傾きの発生の原因となります。

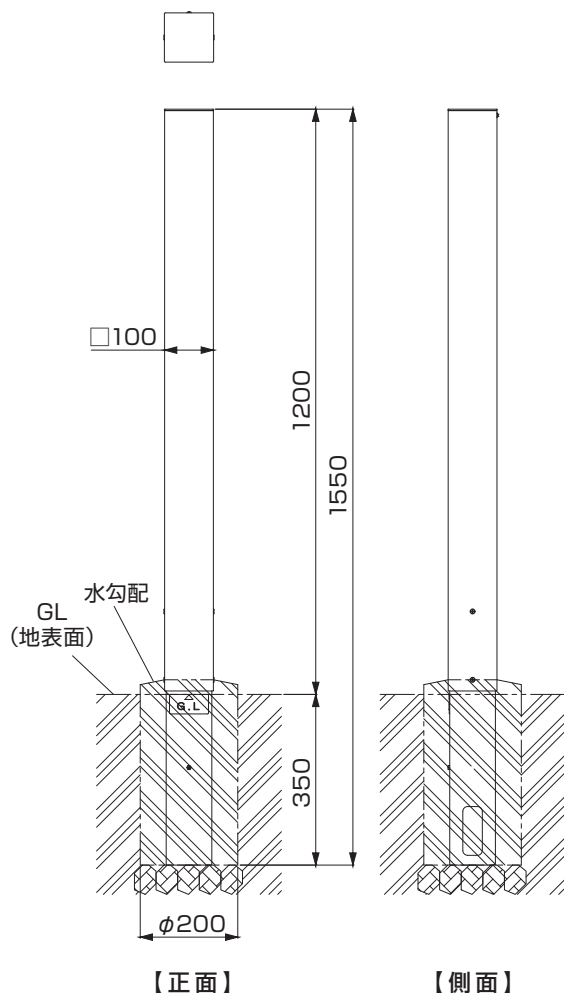
・その他の安全に関する注意事項については、対象機器の説明書に従ってください。

- 次の場所には設置しないでください。
 - ・過酷な取り扱いを受ける場所。
 - ・常に水が多量にかかる場所。
 - ・過度な積雪または霜にさらされる場所。
 - ・植栽に埋もれる、または覆われる場所。
 - ・風速40m/s以上の強風が吹くおそれのある地域。
 - ・使用温度範囲を超えるおそれのある地域。
 - ・温度または気圧の急変が発生する地域。
 - ・過度の水蒸気、油蒸気、煙、埃、塩分または腐食性物質が空気中にある場所。
 - ・爆発性、可燃性またはその他有害なガスが空気中にあるか、そのおそれがある場所。
 - ・強度の電界や磁界にさらされる、または異常な振動や衝撃を受ける場所。
 - ・階段や避難口付近など、避難行動に支障をきたす場所。
 - ・通路となる場所、および人がぶつかる可能性の高い場所。
 - ・車両と接触する可能性のある場所。
- 設置には以下のことを必ず守ってください。
 - ・駐車スペース付近に設置する際は、必ず防護柵などを設置して、製品への衝突を防止してください。
 - ・コンセントやその他部材の取り付け・メンテナンスができるように、周囲に十分な空間を確保してください。
 - ・建物の壁にそった施工を行う場合は、建物の基礎と干渉しない位置を確認のうえ、施工してください。
- ・ボール本体内部への水溜まり防止のため、必ず割栗石を敷いてください。
- 製品の取り扱いには以下のことを必ず守ってください。
 - ・落下などの強い衝撃を加えると破損、傷の原因となりますので丁寧に扱ってください。
 - ・開梱時に、刃物などで製品に傷をつけないよう気をつけてください。
 - ・傷の原因になりますので、ボールを床に直置きすることは避けてください。
 - ・腐食の原因となるため、傷をつけないよう十分に気をつけてください。
- 配線工事は以下のことを必ず守ってください。
 - ・「電気工事士」の資格のある方が施工してください。
 - ・「内線規程」に基づいて施工してください。
 - ・専用回路を設けてください。
 - ・ボール本体に銅板やラスなどの異種金属が接触するおそれがある場合は絶縁処理をしてください。
 - ・配線保護配管を300mm以上の深さに埋設し、地中での接続は避けてください。
 - ・重量物による圧力がかかる場合は、JIS C 3653に従って施工してください。
- 清掃時は以下のことを必ず守ってください。
 - ・リシンやモルタル・コンクリートなどが製品に付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
 - ・施工時の汚れ落しにシンナー、塩酸などは使用しないでください。
 - ・製品に水をかけて清掃しないでください。
- 施工後は、取扱説明書・施工手順書をお客様にお渡しください。

3. 仕様

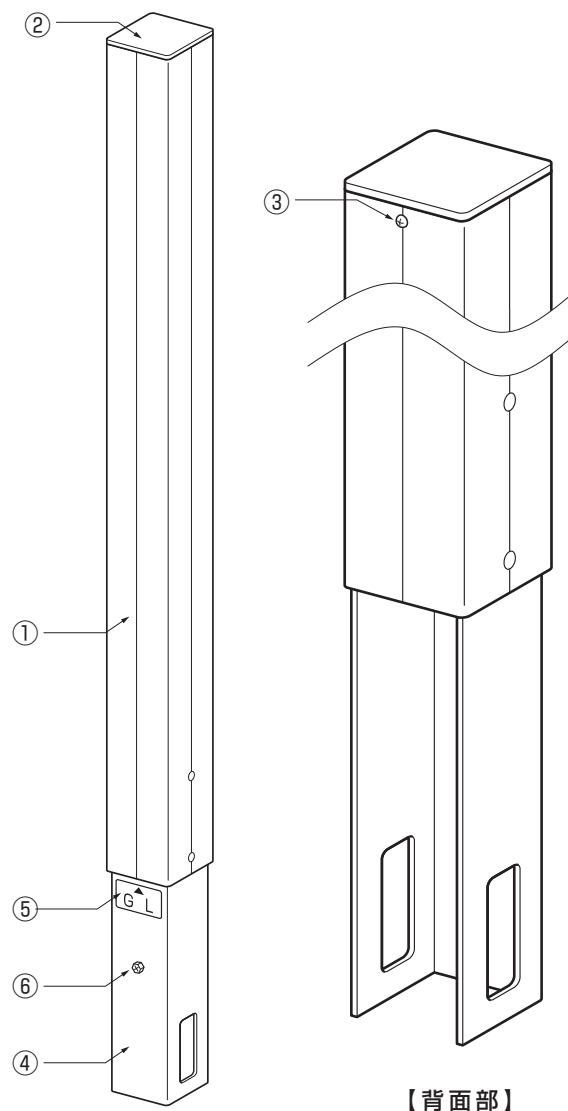
項目	仕様
型番	APL-1200U
設置方法	埋込固定タイプ
色	シルバー、マットブラック、ブロンズ
使用温度範囲	-40℃～+50℃
寸法	高さ 1,550mm (地面から 1,200mm) × 幅 100mm × 奥行 100mm
質量	6.2 kg
設置場所	屋外

5. 寸法図



4. セット明細／各部名称

記号	名称	材質	数量
①	ボール本体	アルミ形材	1
②	天面キャップ	アルミ鋳物	1
③	キャップビス M4 × L10	ステンレス	1
④	埋込支柱	高耐食性溶融亜鉛めっき鋼板	1
⑤	GLラベル	紙	1
⑥	アースボルト M5 × L8	真鍮	1

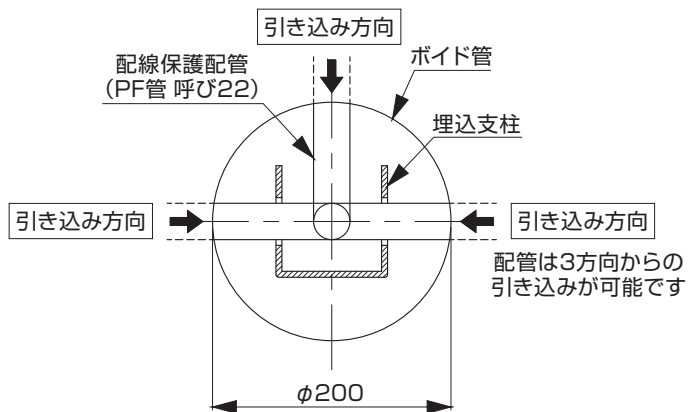


6. 使用工具

- 電動ドリルドライバー
- プラスドライバー
- 巻き尺
- 墨出し器
- 水平器
- ホールソー、またはステップドリル（アルミ加工用）
- 配線工事用工具類
- コンクリート工事用工具類
- ドリルビット $\phi 3.6$ （呼び4）、 $\phi 4.5$ （呼び5）（オプション部材により、不要となる場合もあります）

7. 施工寸法 コンクリート基礎

上面図／配管引き込み方向



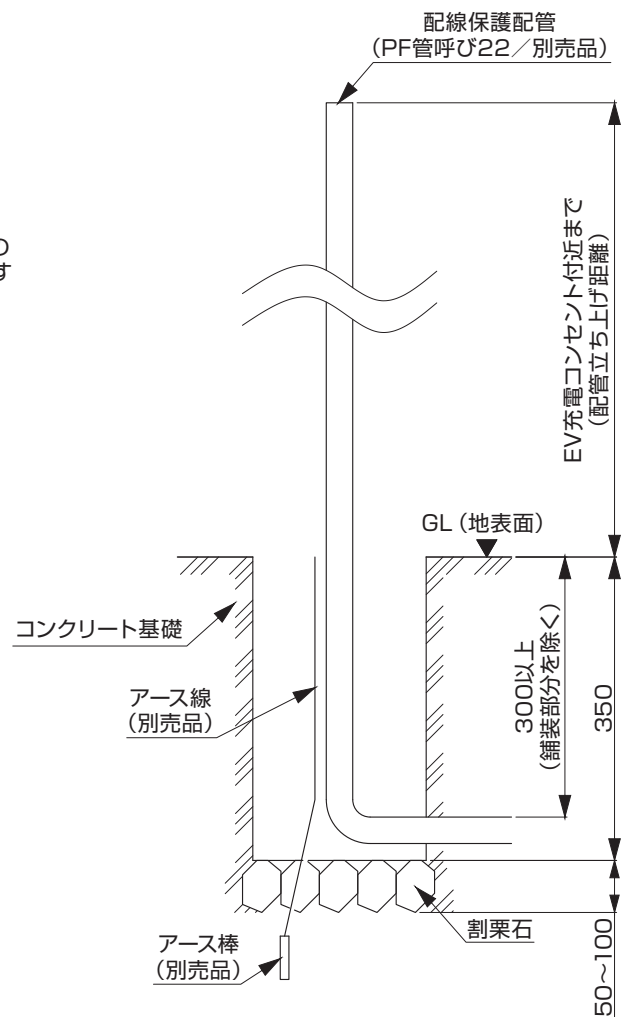
【正面側】

- ・ボイド管（内径200mm）の中心に埋込支柱を配置します。
- ・配管は、正面側以外の3方向から引き込みが可能です。

ご注意

- ・地中埋設配線工事は、有資格の電気工事士が「内線規程」に準じて実施してください。
- ・コンクリート基礎の強度は160kgf/cm²以上としてください。

側面図／配管深さ・立ち上げ



8. ポール本体の施工

- 本体ポール内部に水が溜まらないように、割栗石を敷いてください。
- 転倒や腐食防止のため、必ずコンクリートによる根巻きをしてください。
- 事前に配線保護配管の引き込み方向や、オプション部材（充電コンセントなど）の向きをよく確認のうえ、施工を始めてください。

1. 埋設穴の施工、配線保護配管の地中配管

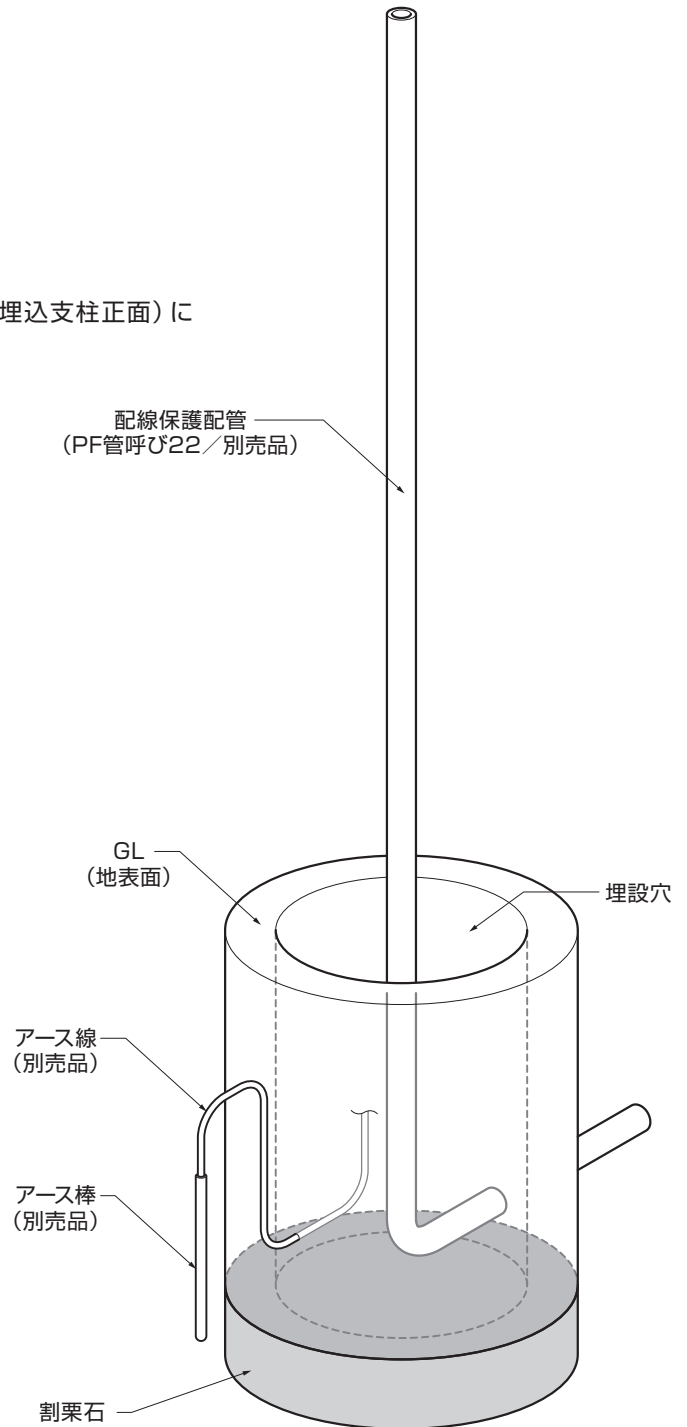
- ・ 施工寸法図を確認のうえ、割栗石やコンクリート基礎を施工してください。
- ・ 配線保護配管を地中配管し、埋設穴に引き込んでください。

ご注意

- ・ コンクリート基礎の強度は 160kgf/cm^2 以上としてください。

2. アース棒の打ち込み、アース線の引き込み

- ・ アース棒を地面に打ち込み、アース線をアースボルト（埋込支柱正面）に固定できるように埋設穴に引き込んでください。



3.ポール本体への加工

オプション部材を取り付ける向きや高さを事前に確認してください。
各オプション部材の説明書を確認のうえ、ポール本体に穴加工をしてください。



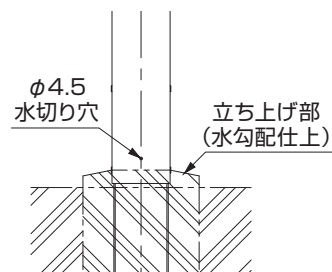
オプション部材の推奨加工寸法は、
こちらからご確認ください。

水切り穴の加工

背面側に水切り穴 (φ4.5) をあけてください。

ご注意

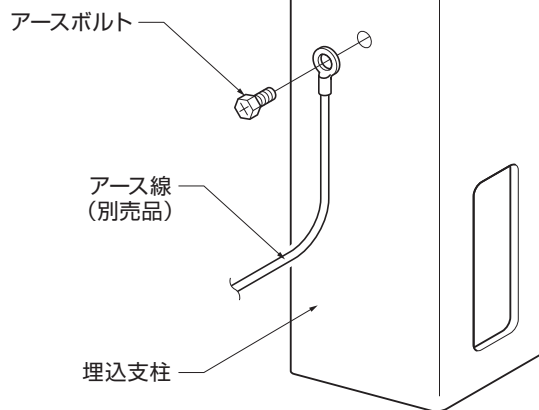
- ・埋め戻し時に、コンクリートにより穴がふさがれない位置にあけてください。



【背面側】

4.アース線の取り付け

アース線をアースボルトで埋込支柱に固定してください。

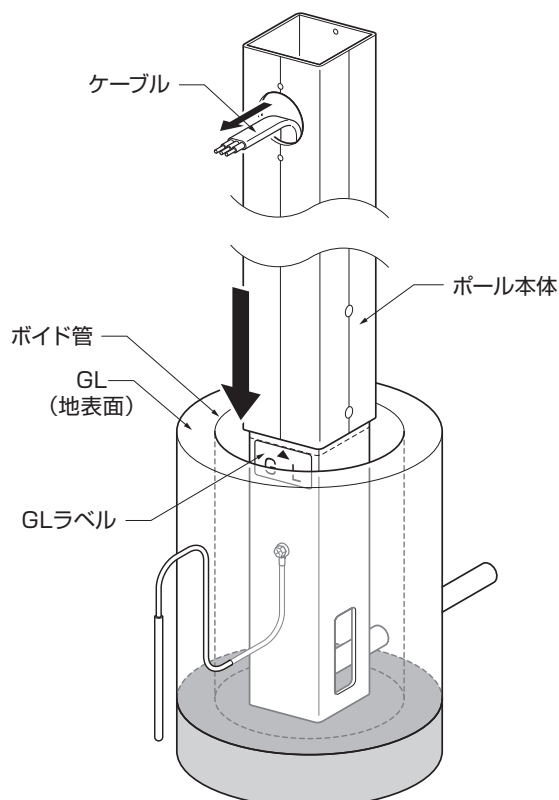


5.ポール本体の設置

- ・ケーブルを充電コンセント用の穴から引き出し、ボイド管の中心位置にポール本体を設置してください。
- ・GLラベル (矢印先端) とGL (地表面) が一致している事を確認してください。

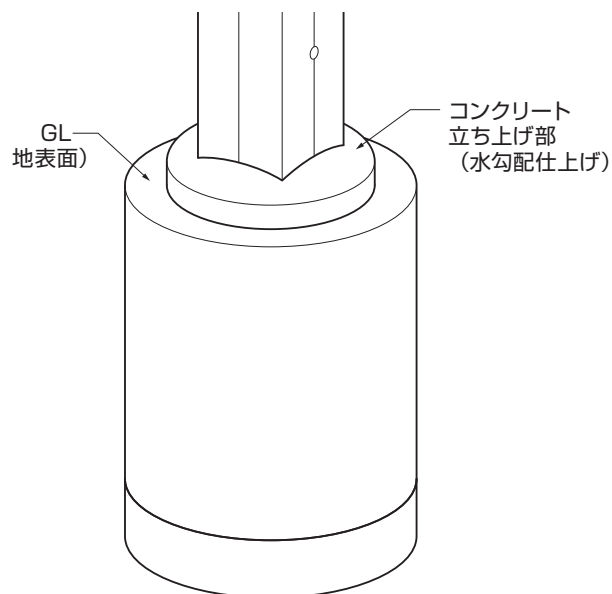
ご注意

- ・地中埋設配線工事は、有資格の電気工事が「内線規程」に準じて実施してください。
- ・EV充電コンセントなどのオプション部材の使用に支障がない向きである事を確認のうえ、ポール本体を設置してください。
- ・ポール本体が傾かないように設置してください。
- ・製品内部の配線は、絶縁処理および防水処理をしてください。漏電の原因となります。



6.埋め戻し

- ・コンクリートで、GLラベルが全て埋まるまで埋め戻してください。
- ・ポール本体の方向、傾きを調整してください。
- ・養生後に水勾配を付けて仕上げてください。
ポール根元部が土や砂利に覆われないよう、また水に浸らないように、立ち上げ部はGL（地表面）よりも高くしてください。

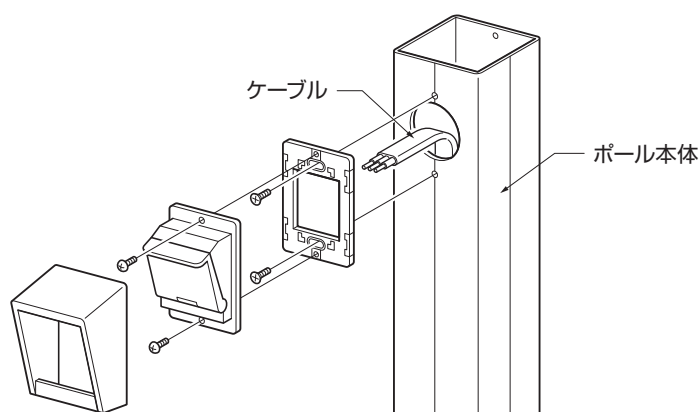


7.電気の配線、オプション部材の取り付け

ご注意

- ・EV充電コンセントや、各種ホルダーなどのオプション部材は、オプション部材側の施工説明書を必ずご確認くださいのうえ、施工してください。

オプション部材の施工説明書に準じて、部材を取り付けてください。



【EV充電コンセント施工例】

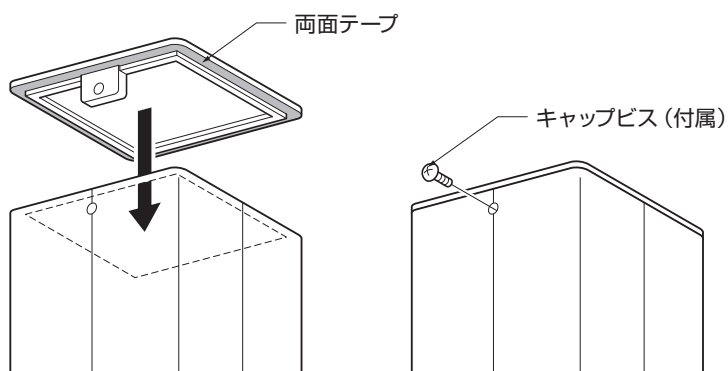
8.天面キャップの取り付け

両面テープの離型紙をはがします。

「天面キャップのねじ穴」と「ポール本体の穴」の向きを確認のうえ、上から押さえてポール本体に取り付けます。キャップビスを固定します。

ご注意

- ・止水性能を確保するため、天面キャップはしっかりと押さえて固定してください。
- ・天面キャップ取り付け後に、一度取り外すと止水性能が損なわれるため、取り外さないでください。



—— お問い合わせ先 ——

- WEB入力フォーム
<https://www.inaba.co.jp/contact/abaniact/#8>
- 因幡電機産業株式会社
産機カンパニー ハウジング統括部
TEL : 06-7669-1796



因幡電機産業株式会社
産機カンパニー ハウジング統括部